

器官制御医学講座 産科婦人科学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	吉田 好雄	昭和63年6月－平成2年6月、平成6年12月－平成18年9月－（平成24年6月－現職）
准教授	黒川 哲司	平成5年5月－平成7年6月、平成13年6月－（平成26年4月－現職）
講師	折坂 誠	平成5年5月－平成6年3月、平成11年6月－（平成20年7月－現職）
助教	知野 陽子	平成12年4月－平成12年9月、平成18年4月－平成26年6月－（平成31年4月－現職）
助教	品川 明子	平成13年5月－平成14年5月、平成14年12月－平成15年5月、平成18年4月－
助教	津吉 秀昭	平成21年12月－
助教	大沼 利通	平成23年7月－平成23年12月、平成28年4月－
助教	玉村 千代	平成30年4月－平成31年3月－（平成31年4月－現職）
助教	川村 裕士	平成28年4月－（平成30年4月－現職）
特命助教	白藤 文	平成31年4月－
特命助教	宮崎 有美子	令和2年4月－令和2年11月、令和2年12月－現職（総合周産期母子医療センター）
特命助教	山田 しず佳	令和2年4月－令和2年11月（総合周産期母子医療センター）令和2年12月－現職

2. 研究概要

研究概要

【腫瘍】福井大学高エネルギー医学センターと、同医学部医学科器官制御医学講座産科婦人科学のグループは共同で、PET検査による精度の高い子宮筋腫・肉腫の鑑別診断法開発を長年行っている。子宮肉腫の診断には、従来のFDG-PET検査のみでの診断は困難だった。子宮肉腫には女性ホルモンの作用部位である正常なエストロゲン受容体が少ないという基礎検討に基づき、フルオロエストラジオール(FES)と呼ばれる女性ホルモン（ 17β -エストラジオール）にF-18を付加したPET薬剤を用いるFES-PET検査を、FDG-PET検査に追加すると、手術前に子宮筋腫と肉腫の鑑別診断を正確に行えることを確認した。

(2) 子宮肉腫の新たなバイオマーカーの開発

分子生体情報学教室と共同で、子宮肉腫肺転移動物モデルを開発した。現在、そのモデルを活用し、転移メカニズム・新たなバイオマーカーの発見と検査法を開発中である。既にこれまでに、検査法に関しては、特許を取得している。

(3) 女性ホルモン受容体イメージングを用いた子宮体癌の新しい治療戦略

子宮体癌では、女性ホルモン受容体発現の有無が、癌の病態や予後を規定する因子であること報告されている。当研究グループは、生体内で機能している女性ホルモン受容体を非侵襲的に検出することが可能なFES(16α -[^{18}F]fluoro- 17β -estradiol)-PET検査を用いた研究において、治療前の原発巣におけるFES集積が、ホルモン療法の治療効果予測だけではなく、再発高リスク因子であるリンパ節転移の有無と有意に相関していることを見出した。今後はこれらの研究結果をもとに、子宮体癌のリンパ節転移メカニズムの解明と、新規治療薬の開発を行っていく。

(4) 銅代謝をターゲットとした新規卵巣癌治療法の開発

我々は誘導結合プラズマ分析装置(ICP-MS)を用いて、腹水の微量元素網羅的解析を行ってきた。その結果、良性卵巣腫瘍と比較して、卵巣癌では腹水銅元素濃度が有意に高いことが判明した。さらに卵巣癌では、腹水中のVEGF濃度と銅元素濃度は有意な相関を認めた。銅のトランスポーターであるCTR1発現の変化とプラチナ耐性は関連している。そこで、卵巣癌の銅代謝の変動の原因を検討し、この特性を利用した新規治療法の開発を行っている。

(5) 液状検体法を用いた新たな子宮体癌診断法の開発

子宮体癌のスクリーニング法で最も重要な方法の一つが子宮内膜細胞診である。しかし、不適正検体率の高さ、出血や炎症による診断のしづらさ、そして感度・特異度の低さなどが問題点として挙げられる。2003年から当院では、子宮内膜細胞診に液状検体法(LBC)を導入し、その問題点の克服が可能か否かを検討し、臨床細胞学会雑誌などに報告している。

(6) 子宮頸がん検診におけるHPV検査の最適な導入法の開発

福井県全県を対象にHPV検査同時併用子宮頸がん検診の臨床研究を実施している。既に、国際的に、HPV同時併用検診は、利益も大きいが見逃すことができないレベルであることが、報告されてきている。そこで、福井県のデータを使い、日本におけるHPV検査の最適な導入法の開発を検討している。

(7) 成人女性に対する子宮頸がんワクチン(HPVワクチン)の効果の検証

福井県全県を対象に27歳から45歳までの子宮頸がん検診で正常であった成人女性に対する子宮頸がんワクチンの効果を検証している。

(8) 高齢者のがん治療に関する臨床研究

高齢がん患者は多様性に富む集団であり、ガイドラインに沿った標準治療が必ずしも患者利益につながるかは十分に検証されていない。外科治療を受ける高齢がん患者を対象に本邦初の大規模な観察研究を展開している。

(9) 卵巣癌におけるバイオマーカーとしての硫酸化糖鎖

がん細胞の浸潤や転移に糖鎖が関与することが示唆されている。糖鎖は細胞表面に発現し、細胞間の情報伝達に重要な役割を担っている。卵巣癌の手術検体を用いて硫酸化糖鎖の発現パターンを確認し、硫酸化糖鎖の臨床的、分子生物学的意義を検討する。硫酸化糖鎖が卵巣癌の予後予測や治療の個別化へ向けた重要なバイオマーカーとなる可能性がある。

(10) 子宮頸がん検診の未受診者対策としての自己採取HPV検査の効果の検討

2020年は福井県の4市町（大野市、勝山市、越前市、高浜町）の協力を得て、30歳代の未受診者の希望者に自己採取HPV検査郵送し、対策型検診に参加してもらう動機

キーワード

【腫瘍】婦人科学、FDG-PET、FES-PET、プラチナ抵抗性卵巣癌、液状細胞診、HPV検査同時併用子宮頸がん検診、HPVワクチン、高齢者がん治療、硫酸化糖鎖、自己採取HPV検査【周産期】帝王切開、前置胎盤、癒着胎盤、胎盤ポリープ【生殖】卵胞、卵子、顆粒膜細胞、英膜細胞、精子、ミトコンドリア、生殖医療、再生医療

業績年の進捗状況

特色等

【腫瘍】福井大学高エネルギー研究所との共同研究

福井大学分子生体情報学教室との共同研究

福井大学腫瘍病理学教室との共同研究【周産期】ハイリスク妊産婦が安全に分娩できるよう、産科臨床の現場から課題をピックアップし、それらを一一つ克服することで、地域に高度な周産期医療を提供するとともに、得られた成果を国際的に発信していく。【生殖】不妊治療に直結するテーマについて、様々な基礎的アプローチを駆使しながら、解明を試みている

本学の理念との関係

【腫瘍】

世界水準の高度先端医療の開発・実践

【周産期】得られた成果を国際的に発信していく【生殖】

基礎研究で得られた知見をベースに、不妊症や体外受精など臨床応用へつながるトランスレーショナルリサーチを積極的に行っており、少子化社会の克服に寄与したいと考えている

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター（うち原著のみ）	
	2014～2019年分	2020年分	2014～2019年分	2020年分
和文原著論文	19	6		
英文論文	ファーストオーサー	29	57.23(51.759)	21.406(20.014)
	コリボ ディング オーサー	29	57.616(52.145)	25.785(24.393)
	その他	12	41.955(37.572)	16.143(14.917)
	合計	42	101.653(91.799)	41.928(39.31)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2040103

T. Yazawa, H. Inaba, Y. Imamichi, T. Sekigushi, J. Uwada, I. M. o Sayful, M. Orisaka, D. Mikami, T. Ida, T. Sato, Y. Miyashiro, S. Takahashi, Khan Md. Rafiqul Islam, N. Suzuki, A. Umezawa, T. Kitano: Profiles of 5 α -Reduced Androgens in Humans and Eels: 5 α -Dihydrotestosterone and 11-Ketodihydrotestosterone Are Active Androgens Produced in Eel Gonads, Front Endocrinol, 12, 657360-657360, 20210323, DOI: 10.3389/fendo.2021.657360, #3.644

2040104

M. Yamamoto, K. Kurata, M. Asai-Sato, M. Shiomi, Y. Ueda, Y. Aoki, Y. Yoshida: Low surgical Apgar score in older patients with gynecological cancer is a risk factor for postoperative complications and 1-year mortality: A multicenter retrospective cohort study, Mol Clin Oncol, 14(1), 21-21, 202101, DOI: 10.3892/mco.2020.2183, #1.5

2040105

M. Orisaka, H. Kawamura, Y. Yoshida: COVID-19 testing of pregnant women in Japan, J Obstet Gynaecol Res, 47(1), 464-464, 202101, DOI: 10.1111/jog.14567, #1.392

2040106

Y. Norimatsu, S. Irino, Y. Maeda, K. Yanoh, T. Kurokawa, Y. Hirai, TK. Kobayashi, F. Fulciniti: Nuclear morphometry as an adjunct to cytopathologic examination of endometrial brushings on LBC samples: A prospective approach to combined evaluation in endometrial neoplasms and look alikes, Cytopathology, 32(1), 65-74, 202101, DOI: 10.1111/cyt.12902, #1.493

2040107

H. Tsuyoshi, T. Tsujikawa, S. Yamada, H. Okazawa, Y. Yoshida: Diagnostic value of 18F-FDG PET/MRI for revised 2018 FIGO staging in patients with cervical cancer., Diagnostics (Basel), 11(2), 202-202, 20210129, DOI: 10.3390/diagnostics11020202, #3.11

2040108

Shinpei Matsuda, Takanori Goi, Yoshio Yoshida and Hitoshi Yoshimura: Periodontal disease in preoperative patients with digestive cancer: a retrospective, single-institution experience in Fukui, Japan, BMC Oral Health, 21(1), 3-3, 20210106, DOI: 10.1186/s12903-020-01378-y, #1.911

2040109

T. Kurokawa, M. Yamamoto, T. Onuma, H. Tsuyoshi, A. Shinagawa, Y. Chino, Y. Yoshida: The study protocol of the evaluation for the preventive efficacy of the HPV vaccine for persistent HPV16/18 infection in Japanese adult women: the HAKUOH study., BMC cancer, 20(1), 1056-1056, 20201103, DOI: 10.1186/s12885-020-07563-0, #3.15

2040110

T. Kurokawa, Y. Yoshida, O. Iwanari, T. Oishi, T. Kasai, M. Hamada, H. Fujita, H. Fujiwara, M. Yokoyama, N. Sakuragi, J. Kigawa, M. Suzuki: Implementation of primary HPV testing in Japan., Mol Clin Oncol, 13(4), 22-22, 202010, DOI: 10.3892/mco.2020.2092, #1.5

2040111

T. Onuma, T. Kurokawa, A. Shinagawa, Y. Chino, Y. Yoshida: Evaluation of the concordance in HPV type between self and physician-collected samples using a brush-based device and a PCR-based HPV DNA test in Japanese referred patients with abnormal cytology or HPV infection, Int J Clin Oncol, 25(10), 1854-1860, 202010, DOI: 10.1007/s10147-020-01727-5, #2.879

2040112

H. Tsuyoshi, T. Tsujikawa, S. Yamada, H. Okazawa, Y. Yoshida: Diagnostic value of 18F-FDG PET/MRI for staging in patients with endometrial cancer., Cancer imaging, 20(1), 75-75, 20201022, DOI: 10.1186/s40644-020-00357-4, #2.193

2040113

H. Tsuyoshi, T. Tsujikawa, S. Yamada, H. Okazawa, Y. Yoshida: Diagnostic value of [18F]FDG PET/MRI for staging in patients with ovarian cancer., EJNMMI res, 10(1), 117-117, 20201002, DOI: 10.1186/s13550-020-00712-3, #2.64

2040114

H. Tsuyoshi, M. Orisaka, Y. Fujita, Asare-Werehene M, Tsang BK, Y. Yoshida: Prognostic impact of Dynamin related protein 1 (Drp1) in epithelial ovarian cancer, BMC Cancer, 20(1), 467-467, 20200524, DOI: 10.1186/s12885-020-06965-4, #3.15

2040115

M. Kobayashi, O. Yoshino, A. Nakashima, M. Ito, K. Nishio, Y. Ono, T. Kusabiraki, C. Kunitomi, N. Takahashi, M. Harada, K. Hattori, M. Orisaka, Y. Osuga, S. Saito.: Inhibition of autophagy in theca cells induces CYP17A1 and PAI-1 expression via ROS/p38 and JNK signalling during the development of polycystic ovary syndrome., Mol Cell Endocrinol, 508, 110792-110792, 20200515, DOI: 10.1016/j.mce.2020.110792, #3.871

2040116

M. Yamamoto, Y. Yoshida, Y. Itani, S. Sato, M. Futagami, H. Sakai, H. Kajiyama, M. Fujimura, Y. Aoki: How do doctors choose treatment for older gynecological cancer patients? A Japanese Gynecologic Oncology Group survey of gynecologic oncologists., Int J Clin Oncol, 25(4), 741-745, 202004, DOI: 10.1007/s10147-019-01574-z, #2.879

(2040117)

T. Tsujikawa, H. Oikawa, T. Tasaki, N. Hosono, H. Tsuyoshi, Rahman MGM, Y. Yoshida, T. Yamauchi, H. Kimura, H. Okazawa: Integrated [18F]FDG PET/MRI demonstrates the iron-related bone-marrow physiology, Sci Rep, 10(1), 13878-13878, 20200817, DOI: 10.1038/s41598-020-70854-w, #3.998

b. 原著論文（審査無）

c. 原著論文（総説）

2040118

M. Orisaka, Y. Miyazaki, A. Shirafuji, C. Tamamura, H. Tsuyoshi, Benjamin K Tsang, Y. Yoshida: The role of pituitary gonadotropins and intraovarian regulators in follicle development: A mini-review, Reprod Med Biol, 20(2), 169-175, 20210213, DOI: 10.1002/rmb2.12371

2040119

H. Tsuyoshi, D. Inoue, T. Kurokawa, Y. Yoshida: Hyperthermic intraperitoneal chemotherapy (HIPEC) for gynecological cancer, J Obstet Gynaecol Res, 46(9), 1661-1671, 202009, DOI: 10.1111/jog.14391, #1.392

2040120

Y. Norimatsu, K. Yanoh, Y. Hirai, T. Kurokawa, T. K. Kobayashi, F. Fulciniti: A Diagnostic Approach to Endometrial Cytology by Means of Liquid-Based Preparations, Acta Cytologica, 64(3), 195-207, 202004, DOI: 10.1200/IJCO.2017.35.4, #1.226

d. その他研究等実績（報告書を含む）

2040121

T. Kurokawa: Is the catch-up program of HPV vaccination for Japanese adult women effective or not?, Cancer Science, 111(4), 1435-1436, 202004, DOI: 10.1111/cas.14342, #4.966

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書（分担執筆）

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

2040122

江坂 有希恵、井上 大輔、宮崎 有美子、津吉 秀昭、折坂 誠、黒川 哲司、吉田 好雄：子宮鏡下手術中に激しいスパークを生じてループ型電極が融解消失した1例、福井大学医学部研究雑誌、21、45-49、202103（症例報告）

2040123

西野 千尋、吉田 好雄、黒川 哲司、笹川 寿之、高倉 正博、中島 彰俊、島 友子、榎本 隆之、西野 幸治、麻谷 美奈、本山 悌一：“悩ましい症例”に立ち向かう！第13回 CPiCレポート 侵襲性血管粘膜腫と識別困難であった循環障害より浮腫状変化を起こした子宮平滑筋腫の1例、産婦人科の実際、69(5)、500-504、20200501、DOI: 10.18888/sp.0000001274（症例報告）

2040124

黒川 哲司、八代 憲司、川村 裕士、大沼 利通、津吉 秀昭、品川 明子、知野 陽子、折坂 誠、吉田 好雄：妊娠13週で施行した広汎子宮頸部摘出術の1例、日本婦人科腫瘍学会雑誌、38(2)、155-158、20200425

b. 原著論文（審査無）

2040125

黒川 哲司、山田 しず佳、津吉 秀昭、吉田 好雄：分子標的薬を極める―基礎から臨床まで Ⅲ. 分子標的薬と臨床 チロシンキナーゼ阻害薬を用いた自験例、産科と婦人科、87(10)、1199-1202、20201001

2040126

大沼 利通、黒川 哲司、品川 明子、知野 陽子、吉田 好雄：PCR法を用いたHPV自己採取と医師採取のHPV型一致率についての検討、第28回福井婦人科腫瘍研究会、20200909（症例報告）

2040127

田中 良明、鈴木 秀文、伊藤 太郎、富士井 杏子、岡 秀明、折坂 誠、吉田 好雄、山本 宝：妊娠中の便秘を契機に発症した若年者虚血性大腸炎の1例、産科と婦人科、87(6)、727-730、20200601（症例報告）

c. 総説

2040128

黒川 哲司、岩崎 博道、島田 政則、吉田 好雄：本邦におけるHPVワクチンの現状と今後、日本臨床内科医会誌、35(5)、352-356、20210310

2040129

二川 佳央、津吉 秀昭、井上 大輔、黒川 哲司、吉田 好雄：温熱化学療法（HIPEC）における加温と測温技術に関する医工連携、産婦人科の実際、69(10)、1097-1103、20201001、DOI: 10.18888/sp.0000001425

2040130

津吉 秀昭、井上 大輔、黒川 哲司、二川 佳央、吉田 好雄：第4回腹腔内温熱化学療法（HIPEC）：腹腔内温熱化学療法（HIPEC）の臨床試験、産婦人科の実際、69(9)、993-1000、20200901、DOI: 10.18888/sp.0000001393

2040131

井上 大輔、津吉 秀昭、黒川 哲司、二川 佳央、吉田 好雄：第3回腹腔内温熱化学療法（HIPEC）：腹腔内温熱化学療法（HIPEC）のメリット・デメリット-有害事象や、治療に際して留意すべきポイントなど-、産婦人科の実際、69(8)、893-901、20200801、DOI: 10.18888/sp.0000001368

2040132

黒川 哲司、津吉 秀昭、井上 大輔、二川 佳央、吉田 好雄：腹腔内温熱化学療法（HIPEC）2 腹腔内温熱化学療法（HIPEC）の手技の実際、産婦人科の実際、69(7)、769-774、20200701、DOI: 10.18888/sp.0000001334

2040133

吉田 好雄、二神 真行、酒井 瞳、鈴木 直：特集 婦人科がん臨床研究のトレンドを知る 9. 婦人科悪性腫瘍研究機構（JGOG）：支持・緩和医療、産科と婦人科、87(6)、675-680、20200601

2040134

吉田 好雄、津吉 秀昭、井上 大輔、黒川 哲司、二川 佳央：第1回腹腔内温熱化学療法（HIPEC）：腹腔内温熱化学療法（HIPEC）とは？-HIPECの適応、概要など-、産婦人科の実際、69(6)、639-649、20200601、DOI: 10.18888/sp.0000001306

2040135

吉田 好雄：高齢者婦人科癌治療における現状と問題点、日本婦人科腫瘍学会雑誌、38(2)、83-92、20200425

d. その他研究等実績（報告書を含む）

2040136

宮崎 有美子・白藤 文・折坂 誠：卵胞発育モニタリング、産科と婦人科、88(suppl.), 224-227、202103

2040137

宮崎 有美子・白藤 文・玉村 千代・折坂 誠：PCOS不妊女性に対する排卵誘発とメトホルミン療法、臨床婦人科産科、75(1)、58-63、202101

2040138

折坂 誠：本院における生殖医療と生殖サポート外来、院内だより、83、8-10、20200731

2040139

吉田 好雄：血液検査で、簡便に良性の子宮筋腫と悪性の子宮肉腫を鑑別する方法を発見しました、院内だより、83、5-6、20200731

2040140

山本 真、吉田 好雄：I 委員会報告 3. 支持・緩和医療委員会 卵巣癌患者におけるサルコペニア術後合併症に関する後方視的研究 JGOG9005S、第18回婦人科悪性腫瘍研究機構年次会議（総会）記録集、46-49、202006

2040141

吉田 好雄：I. 委員会報告 3. 支持・緩和医療委員会 支持・緩和医療委員会報告、第18回婦人科悪性腫瘍研究機構年次会議（総会）記録集、36-37、20200625

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

2040142 津吉 秀昭：当院における進行卵巣がんの治療戦略，ゼジュラ発売記念講演会，20210325

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

2040143 黒川 哲司：子宮頸がんの予防—産科婦人科医の立場より—子宮頸がん治療で悩む妊娠前や妊娠中の患者を減らしたい，第11回日本がん生殖医療学会，20210212

2040144 黒川 哲司・大沼 利通・品川 明子・知野 陽子・吉田 好雄：子宮頸がん検診におけるHPV検査を考える（精度管理も含めて），第61回 日本臨床細胞学会総会（春期大会），WEB，20200620

2040145 黒川 哲司：子宮頸がん予防、どうしていますか？，conference of Clinical Investigation and Pharmacotherapy for Pharmacists (CCIPP) 大阪薬剤師会，20210312

2040146 加藤 優里・川村 裕士・津吉 秀昭・品川 明子・知野 陽子・黒川 哲司・吉田 好雄：妊娠初期に母体適応で人工妊娠中絶となった胎児共存奇胎の1例，第72回日本産科婦人科学会学術講演会【WEB開催】，20200423

2040147 山本 真・鈴木 直・井谷 嘉男・酒井 瞳・佐藤 慎也・佐藤 美紀子・二神 真行・吉田 好雄：本邦における高齢者に対する婦人科がん治療の現状と問題点～多施設共同後ろ向きコホート研究～，第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会，20210129

2040148 黒川 哲司・大沼利通・品川明子・知野陽子・吉田好雄：福井県における未受診者対策としての自己採取HPV検査，第29回日本婦人科がん検診学会，20210220

2040149 黒川 哲司：日本は自己採取HPV検査検診を推進すべきか？，第29回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会，20210220

2040150 津吉 秀昭：子宮平滑筋肉腫の診断・治療Update，第62回婦人科腫瘍学会，20210129

2040151 津吉 秀昭：子宮肉腫の早期診断・治療のための新たな血清バイオマーカーの開発，第62回婦人科腫瘍学会，20210129

2040152 川村 裕士：帝王切開癒痕部の問題点，第43回日本産婦人科手術学会，20201109

d. 一般講演（ポスター）

2040153 高原 志津子・黒川 哲司・今井 康人・村山 敏典・吉田 好雄：同意書ID付QRコードを利用したWeb/郵送による問診票データ収集，第11回日本臨床試験学会学術総会，20210214

e. 一般講演

2040154 井上 大輔・吉田 好雄：腹腔鏡下手術修練医のTLH習熟に関する検討，第72回日本産科婦人科学会学術講演会，20200423

2040155 津吉 秀昭・井上 大輔・山田 しず佳・宮崎 有美子・大沼 利通・黒川 哲司・吉田 好雄：卵巣腫瘍に対する腹腔鏡下手術におけるFDG-PET/MRIの役割，第60回産科婦人科内視鏡学会，20201214

2040156 黒川 哲司：職域検診における子宮頸がん検診の課題とこれから「子宮頸がん検診におけるHPV検査の意義」，第61回 日本人間ドック学会学術大会，WEB，20201126

2040157 T .Kurokawa・T .Onuma・Y .Chino・A. Sinagawa・Y.Yoshida: The optimizing management of women with normal cytology result and HPV16 genotype in Japanese cervical cancer screening，第62回 日本婦人科腫瘍学会学術講演会，WEB，20210129

2040158 水谷 哲也・津吉 秀昭・山田 しず佳・吉田 好雄：子宮肉腫と子宮筋腫を鑑別する新たなバイオマーカーの同定，第79回日本癌学会総会，20201013

2040159 黒川 哲司・井上 大輔・大沼 利通・津吉 秀昭・品川 明子・知野 陽子・片山 寛次・吉田 好雄：HIPECワークショップ ～播種に対するCRSとHIPECの効果について～，第37回日本ハイパーサーミア学会，WEB，20200912

2040160 井上 大輔：進行婦人科がんに対する腫瘍減量術と腹腔内温熱化学療法（HIPEC），第62回日本婦人科腫瘍学会学術講演会，20210129

2040161 黒川 哲司：子宮頸がん予防、どうしていますか？，第338回 奇松会，WEB，20200918

2040162 黒川 哲司：子宮頸癌の悲劇，第39回 日本思春期学会，WEB，20200922

f. その他

2040163 津吉 秀昭：FDG-PET/MRIを用いた婦人科腫瘍の診断能の検討（098T），第25回福井大学高エネルギー医学研究センター研究発表会，20210222

2040164 津吉 秀昭：令和3年度科学研究費助成事業教員対象説明会，令和3年度科学研究費助成事業教員対象説明会，20200914

(3) 国内学会（地方レベル）

a. 招待・特別講演等

2040165 黒川 哲司：検診にHPV検査が導入された後に求められる細胞診の役割，第35回 鳥取県臨床細胞学会，WEB，20210123

2040166 黒川 哲司：HPV検査導入後の子宮頸がん検診—福井県の臨床研究から考える—，第168回 日本臨床細胞学会東海連合会例会，WEB，20201203

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

2040167

玉村 千代・井川 正道・宮崎 有美子・川村 裕士・津吉 秀昭・川谷 正男・吉田 好雄：当院でのNIPT外来の現状と課題，第40回北陸臨床遺伝研究会，20210223

2040168

佐々木 晴菜・川村 裕士・工藤 渉・山内 諒子・丹羽 堅太郎・波々伯部 隆紀・江坂 有希恵・井上 大輔・宮崎 有美子・山田 しず佳・白藤 文・玉村 千代・大沼 利通・津吉 秀昭・品川 明子・知野 陽子・折坂 誠・黒川 哲司・吉田 好雄：双頭双角子宮に生じた帝王切開痕部妊娠の治療経験～子宮内容除去術における出血予防策と術後出血への対処法について～，福井県産婦人科医師連合第91回冬期臨床研修会，20210124

f. その他

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

e. 一般講演

2040169

折坂 誠：福井県におけるCOVID-19と妊娠の近況報告，福井県産婦人科医師連合第91回冬期臨床研修会，20200124

f. その他

(G) 特許等

区分	内容（発明の名称）	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
----	---------	-------	------	------	------	---------

区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額（配分額）
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	Radiogenomicsに基づく進行再発子宮体癌新規治療薬とバイオマーカー開発	津吉 秀昭		20200401-20230331	¥1,950,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	卵巣癌における腹水中の微量銅元素増加の意義解明と新規銅制御治療法の開発	大沼 利通	吉田 好雄，黒川 哲司	20190401-20220331	¥2,730,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	脱落膜分泌因子による絨毛浸潤制御機構～ART妊娠に伴う癒着胎盤の予測へ向けて～	川村 裕士		20190401-20220331	¥520,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	若年子宮体癌の妊娠性温存療法に対する非侵襲的治療効果判定法および抵抗性機序の解明	山田 しず佳		20180401-20220331	¥910,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)	Radiogenomics法を用いた新規子宮内腫瘍治療バイオマーカーと治療法の開発	吉田 好雄	辻川 哲也，清野 泰，岡沢 秀彦，水谷 哲也	20180401-20210331	¥4,160,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	加齢による精子・卵子の妊孕能低下とミトコンドリア品質管理システムの関連	折坂 誠		20180401-20220331	¥1,430,000

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	公益財団法人日本対がん協会，公益財団法人福井県健康管理協会	子宮頸がん検診の未受診者に対する自己採取HPV検査の受診率向上効果の検証－越前市・大野市・勝山市・高浜町との共同研究－	吉田 好雄，黒川 哲司，知野 陽子，品川 明子，大沼 利通	20200501-20220331	¥0
共同研究	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社	福井県におけるヒトパピローマウイルス（HPV）併用検診導入の試み	吉田 好雄，黒川 哲司，知野 陽子，品川 明子，小林 基弘	20150501-20211231	¥42,762,800

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	M S D株式会社	福井県の対策型検診に参加した27歳～45歳で細胞診正常であった女性にHPV4価ワクチン（ガーダシルR）を接種することによるHPV716型とHPV18型の接続感染予防効果を評価する2群間比較試験	吉田 好雄	20190701-20280331	¥44,140,665
受託研究	シスメックス株式会社，株式会社ビー・エム・エル	子宮内膜悪性腫瘍検出における一部仕様を変更したLC-1000（剥離細胞分析装置）の有用性に関する多施設共同試験	吉田 好雄，黒川 哲司	20200619-20221231	¥6,600,000

業績一覧

受託研究	公益社団法人日本産婦人科医会	自己採取HPV検査の精度の検証と至適運用をめざした日本産婦人科医会・がん部会の臨床研究	黒川 哲司	20201204-20231231	¥676,000
受託研究	国立大学法東北大学	進行再発悪性軟部腫瘍に対するエリブリン/パゾパニブ併用療法の第Ⅰ相臨床研究	吉田 好雄	20181025-20200531	¥100,000
受託研究	国立大学法人北海道大学	シスプラチンを含む化学療法を施行される子宮がん患者の嘔気・嘔吐に対する六君子湯の効果－ブラセボ対照無作為化二重盲検比較検証試験」の分担保機関として自施設の患者登録を推進する。	吉田 好雄	20200401-20210331	¥455,000
受託研究	あすか製薬株式会社	HPV検査の子宮頸部細胞採取器具の形状の違いによる有効性比較試験	吉田 好雄 , 黒川 哲司	20200903-20211231	¥404,040

(B) 奨学寄附金

受入件数	12
受入金額	¥10,490,000

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
福井県産婦人科医師連合	専門医委員会委員長	吉田好雄
福井県産婦人科医師連合	理事	吉田好雄
日本婦人科腫瘍学会	編集委員会委員	吉田好雄
日本癌学会	評議員	吉田好雄
JGOG（婦人科悪性腫瘍研究機構）	理事	吉田好雄
日本産科婦人科学会	基幹施設プログラム統括責任者	吉田好雄
The Japanese Society for Advancement of Women's Imaging (JASWI)	世話人	吉田好雄
日本産科婦人科学会	サスティナブル産婦人科医療体制確立委員会	吉田好雄
日本婦人科腫瘍学会	婦人科腫瘍指導医	吉田好雄
日本産科婦人科学会	専門医制度委員会福井地方委員会委員長	吉田好雄
日本産科婦人科学会	産婦人科指導医	吉田好雄
日本産科婦人科学会	産婦人科専門医	吉田好雄
日本女性医学学会	女性ヘルスケア暫定指導医	吉田好雄
日本周産期・新生児医学会	専門医制度（母体・胎児専門医）暫定指導医	吉田好雄
日本がん治療認定医機構	がん治療認定医	吉田好雄
日本産婦人科手術学会	理事	吉田好雄
日本婦人科腫瘍学会	婦人科腫瘍専門医	黒川哲司
日本産婦人科医会	がん部会委員	黒川哲司
日本産科婦人科学会	産婦人科専門医	黒川哲司
日本臨床腫瘍学会	暫定指導医	黒川哲司
福井県産婦人科医師連合	医療安全対策委員会委員	黒川哲司
福井県産婦人科医師会連合	癌対策委員会委員長	黒川哲司
日本臨床細胞学会	国際交流委員会委員	黒川哲司
日本臨床細胞学会	細胞診専門医	黒川哲司
日本臨床細胞学会	教育研修指導医	黒川哲司
日本臨床細胞学会	指導医	黒川哲司
日本臨床細胞学会	専門医	黒川哲司
母体保護法	専門医	黒川哲司
日本臨床内科医会	公益事業委員会委員	黒川哲司
細胞診ガイドライン改訂ワーキンググループ	委員会委員	黒川哲司
Journal of Ovarian Research	Associate Editor	折坂誠
日本卵子学会	一般会員	折坂誠
福井県産婦人科医師連合	理事	折坂誠
日本生殖内分泌学会	評議員	折坂誠
日本生殖医学会	生殖医療専門医	折坂誠
日本生殖医学会	一般会員	折坂誠
Society for the Study of	Membership Committee	折坂誠
日本生殖医学会	学術医員	折坂誠
福井県母性衛生学会	幹事	折坂誠
日本内分泌学会	一般会員	折坂誠
福井県産科婦人科医師連合	理事	折坂誠
福井県女性の健康相談	委員	折坂誠
日本生殖医学会	代議員	折坂誠
日本産科婦人科学会	産婦人科専門医	知野陽子
日本がん治療認定医機構	がん治療認定医	知野陽子
福井県産婦人科医師会連合	女性医師私営 女性医師支援委員会委員	知野陽子
日本女性医学学会	女性ヘルスケア専門医	知野陽子

業績一覧

日本産科婦人科学会	産婦人科専門医	品川明子
福井県医師会連合	母体保護法指定医	津吉秀昭
日本がん治療認定医機構	がん治療認定医	津吉秀昭
日本産科婦人科学会	産婦人科専門医	津吉秀昭
日本産科婦人科学会	産婦人科専門医	大沼利通
日本産婦人科内視鏡学会	腹腔鏡技術認定医	大沼利通
日本内視鏡外科学会	技術認定医	大沼利通
日本臨床細胞学会	細胞診専門医	大沼利通
日本女性医学学会	女性ヘルスケア専門医	大沼利通
日本周産期・新生児医学会	周産期専門医（母体・胎児）	川村裕士
日本超音波医学会	超音波専門医	川村裕士
日本胎児心臓病学会	胎児心エコー認証医	川村裕士
日本産科婦人科学会	産婦人科専門医	白藤文

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
-----------------	-----	----

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長（主査）・委員 の別	氏名	査読編数
----------	-------	------------------	----	------

(E) その他